

家電を買い換えてマスカットをもらおう!

新潟県では、6月1日から8月31日までの間にキャンペーン登録店で省エネ型の電気冷蔵庫、エアコン、LED照明を買い換えた方を対象に、商品をプレゼントする、「Let's 省エネ! 家電買換キャンペーン」を行っています。抽選で70名に「シャインマスカット」そのほか80名に「LEDシーリングライト」や「LED電球」「LEDランタン」「ボールペン」などが当たります。

省エネ家電で電気代を節約して、ついでにマスカットももらえちゃうこのキャンペーンについて、詳しくは新潟県家庭の省エネ推進協議会（電話：025-280-5150）までお問合せ下さい!

「Eco列車でいこう!」～第84回 台湾ふたたび(2)～ (CO2排出量の少ない交通機関での旅行を応援していくコーナーです!)

(前号より続く)「九份」は相変わらず日本人客でごった返している。「千と千尋の神隠し」の舞台となったこの街は、台湾のガイドブックに必ず掲載される一級観光地だ。

東シナ海を望む茶屋に入った。とっぴり暮れた九份の街に、提灯の光が映し出されている。夜風の気持ちよさに、台湾ビールの空きピンを4本も並べた。街歩きを楽しんだあと、相乗りタクシーで帰途に着いた。

台湾旅行3日目。今日は念願の太魯閣(タロコ)峡谷へ行く。

台北市内にある松山駅から、7:00過ぎのディーゼル特急「自強号」に乗った。前日に指定席を取っておいたので快適だ。列車は風光明媚な台湾東海岸を快走し、10時前に「新城太魯閣」駅に到着した。客待ちをしているタクシーの運転手に交渉する。近距離ではなく、太魯閣観光チャーターの上客が現れたので、運転手は大いに喜んだ。

わりあい新しく乗り心地のいいタクシーで15分程走ると、「東西横貫公路」と書いてある朱塗りの門がある。その先の「砂卡礑步道」が最初の観光スポットだ。「50分後に戻ってきてね。」という運転手に見送られて、遊歩道を歩いた。

そのあと、「長春祠」「燕子口」「九曲洞」などを見学したが、驚くべきはそのスケールの大きさである。日本でも規模の大きい渓谷はあるが、太魯閣渓谷は他を圧倒する。台北から日帰りが可能なので、台湾旅行の際はぜひおすすめしたい。

ドライバーおすすめの食堂で、3菜1汁の昼食を取り、海を見た後、駅まで送ってもらってタクシーを降りた。

帰りは指定が取れなかったもので、約3時間特急のデッキに座り込んで台北に戻った。お嬢さんが駅弁を売りに来たので購入した。台湾で最も人気のある排骨(パイコー)飯弁当で味も良かった。

翌日は台北中心部にある松山空港から羽田空港へのフライトで日本に戻った。2度目の台湾は、完全な個人旅行だったため、うまくいかないこともあったが、スリルがあり、なかなか面白かった。

次に来る機会があるなら、ぜひ台湾を一周してみたい。

もっとディープで、なつかしい台湾に出会えることは間違いないだろう。

